

第3次笠間市環境基本計画 策定に係るアンケート調査

報告書

令和7年11月

笠間市

本調査は、「第3次笠間市環境基本計画」の策定にあたり、市民及び事業者の環境に関する意向や要望などを把握することを目的として実施しました。

調査対象	市民	事業者
実施方法	Web アンケート及び 公共施設へのアンケート用紙設置	Web アンケート(希望する事業者へは アンケート用紙を送付)
調査期間	2024年12月5日(木)～12月25日(水)	
回答件数	336 件	125 件

1. 市民アンケート調査結果概要

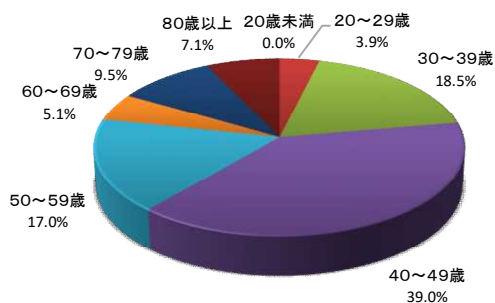
設問項目及び目的は以下の表に示すとおりです。

問	設問項目		目的等
1	市民のパーソナルデータ		属性把握
2	環境について誇りに思うこと		施策等への反映
3	生活の中で気になっている環境問題		施策等への反映
4	情報入手媒体		情報発信の検討
5	環境施策の認知度・利用状況		導入状況の把握、課題抽出、補助制度の検討
6	環境に対する満足度・重要度		課題抽出、施策体系の検討、重点事業の提案
7	気 候 変 動	地球温暖化対策に関する取組	課題抽出、施策等への反映
8		取り組んでいない理由	
9		適応の認知度	認知度の把握、課題抽出
10		行政が優先して取り組む施策	課題抽出、補助制度の検討
11	生 物	生物多様性の認知度	認知度の把握、課題抽出
12		30by30 目標の達成について	施策等への反映
13		笠間市で保全すべき地域	施策等への反映
14		生物多様性への取組	施策等への反映
16	プラスチックごみ等の減量化に係る取組		重点事業の検討、課題抽出、施策等への反映
17	やってみたい環境に関する体験等		環境教育・学習の検討
18	行政が優先して取り組む施策		重点施策の検討

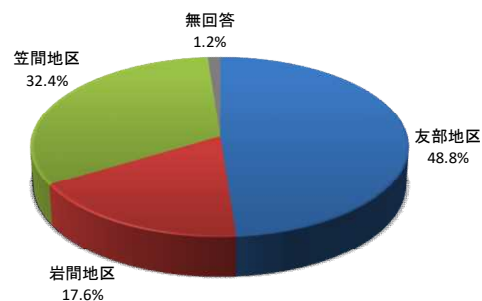
問1)あなたご自身のことについてお尋ねします。それぞれあてはまるものを1つ選んでください。

(n=336)

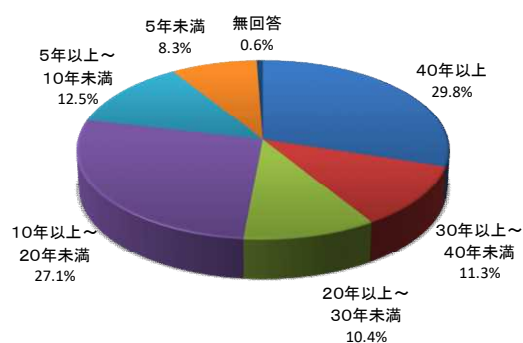
年齢



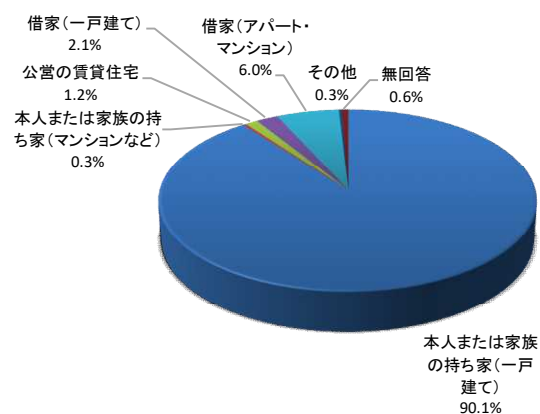
居住地区



居住年数



住居形態



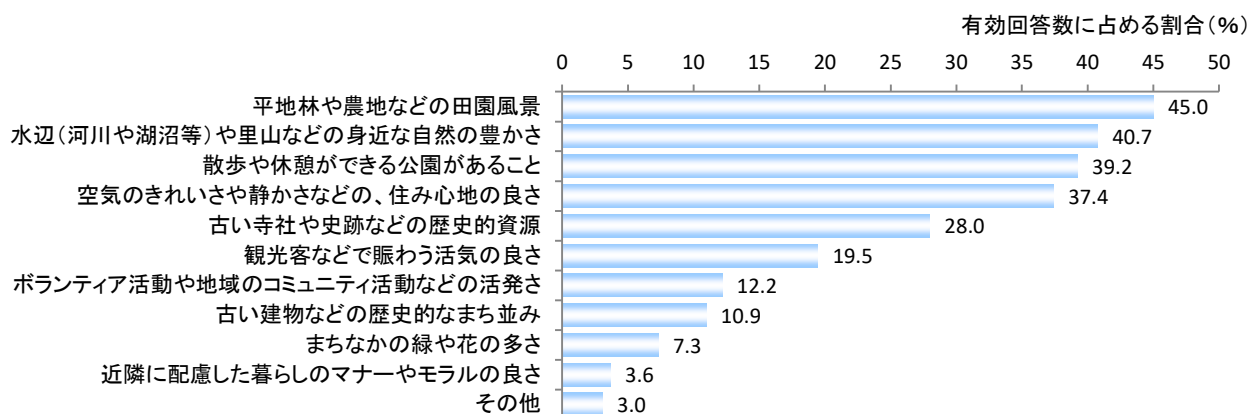
年齢 :40歳代が39.0%で最も多く、次いで30歳代、50歳代、70歳代、80歳以上、60歳代、20歳代の順となっている。

居住地区:友部地区が48.8%で最も多く、次いで笠間地区、岩間地区の順となっている。

居住年数:40年以上が29.8%で最も多く、次いで10年以上～20年未満、5年以上～10年未満の順となっている。

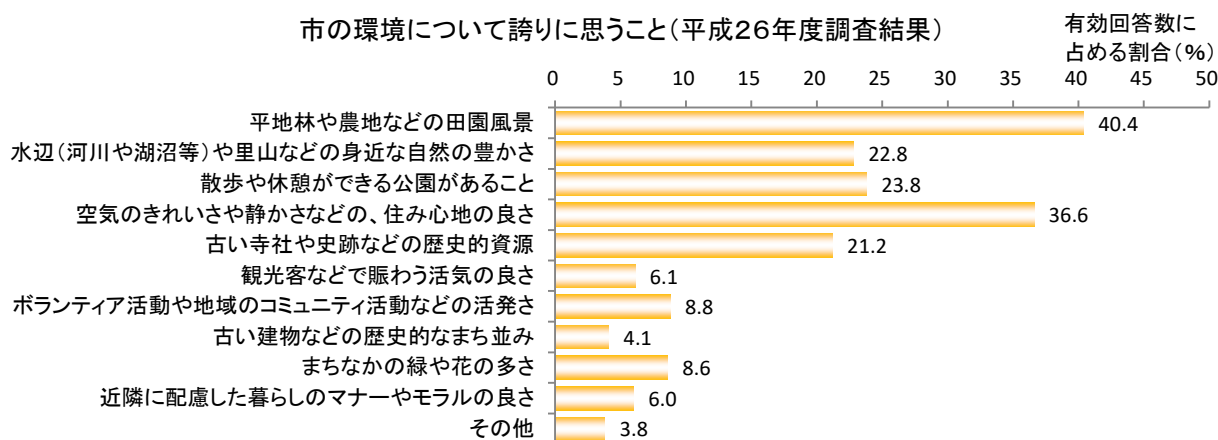
住居形態:本人または家族の持ち家(一戸建て)が90.1%で最も多く、次いで借家(アパート・マンション)、借家(一戸建て)の順となっている。

問2)あなたが笠間市の環境について誇りに思うことは何ですか。あてはまるものを3つまで選んでください。(n=329)



「平地林や農地などの田園風景」が最も多く、次いで「水辺(河川や湖沼等)や里山などの身近な自然の豊かさ」が続いており、豊かな自然環境について誇りとしている市民が多い。
「その他」の内容としては、「県央で色々な施設に恵まれている」「愛宕山」「交通の便の良さ」などが挙げられている。

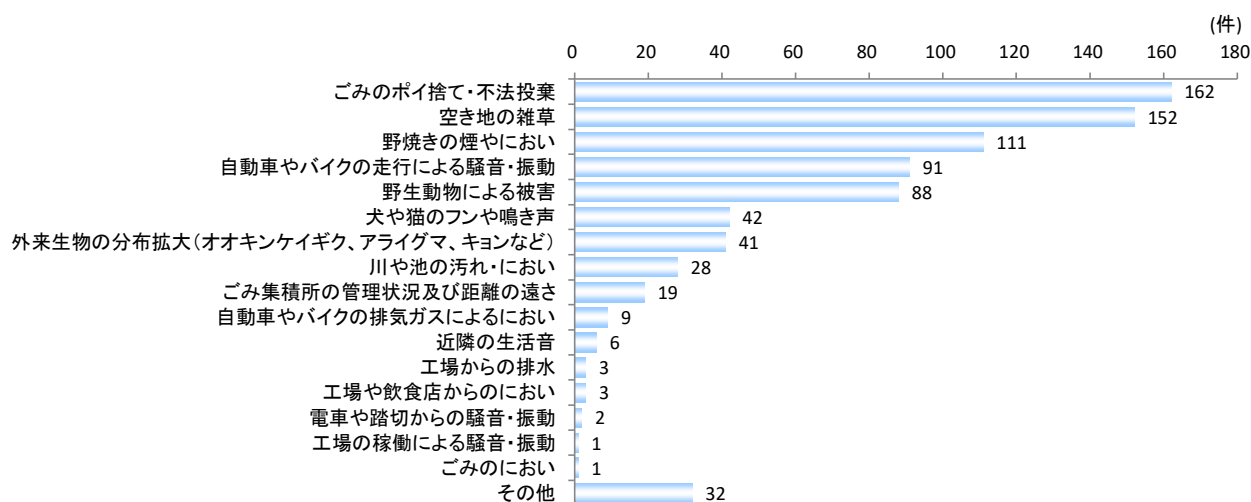
➤ 平成26年度に実施した環境意識調査結果との比較



「平地林や農地などの田園風景」が最多となる傾向は前回調査と同様であった。前回は「空気のきれいさや静かさなどの、住み心地の良さ」が2番目に多い回答数となっていたが、今回の調査では4番目となっている。

前回は3, 4番目であった「散歩や休憩ができる公園があること」や「水辺(河川や湖沼等)や里山などの身近な自然の豊かさ」を選ぶ市民が増えており、市の公園や自然に対する評価が相対的に上昇していると考えられる。

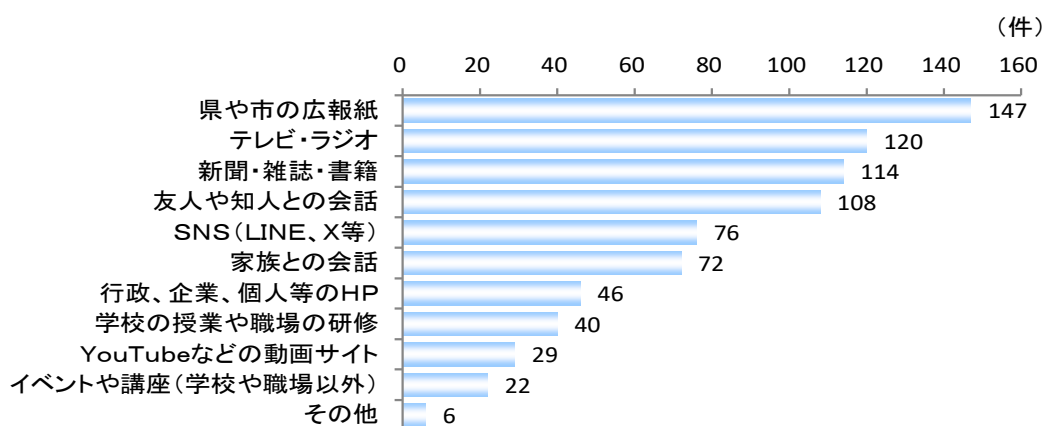
問3)あなたが生活のなかで気になっている環境問題は何ですか。あてはまるものを3つまで選んでください。(n=323)



「ゴミのポイ捨て・不法投棄」が最も多く、次いで「空き地の雑草」、「野焼きの煙やにおい」が続いている。

「その他」の内容としては、「道路のデコボコ」「田畑の雑草」「森林環境の破壊」「渋滞」「空き家」「家畜の糞尿のにおい」「たばこのにおい」などが挙げられている。

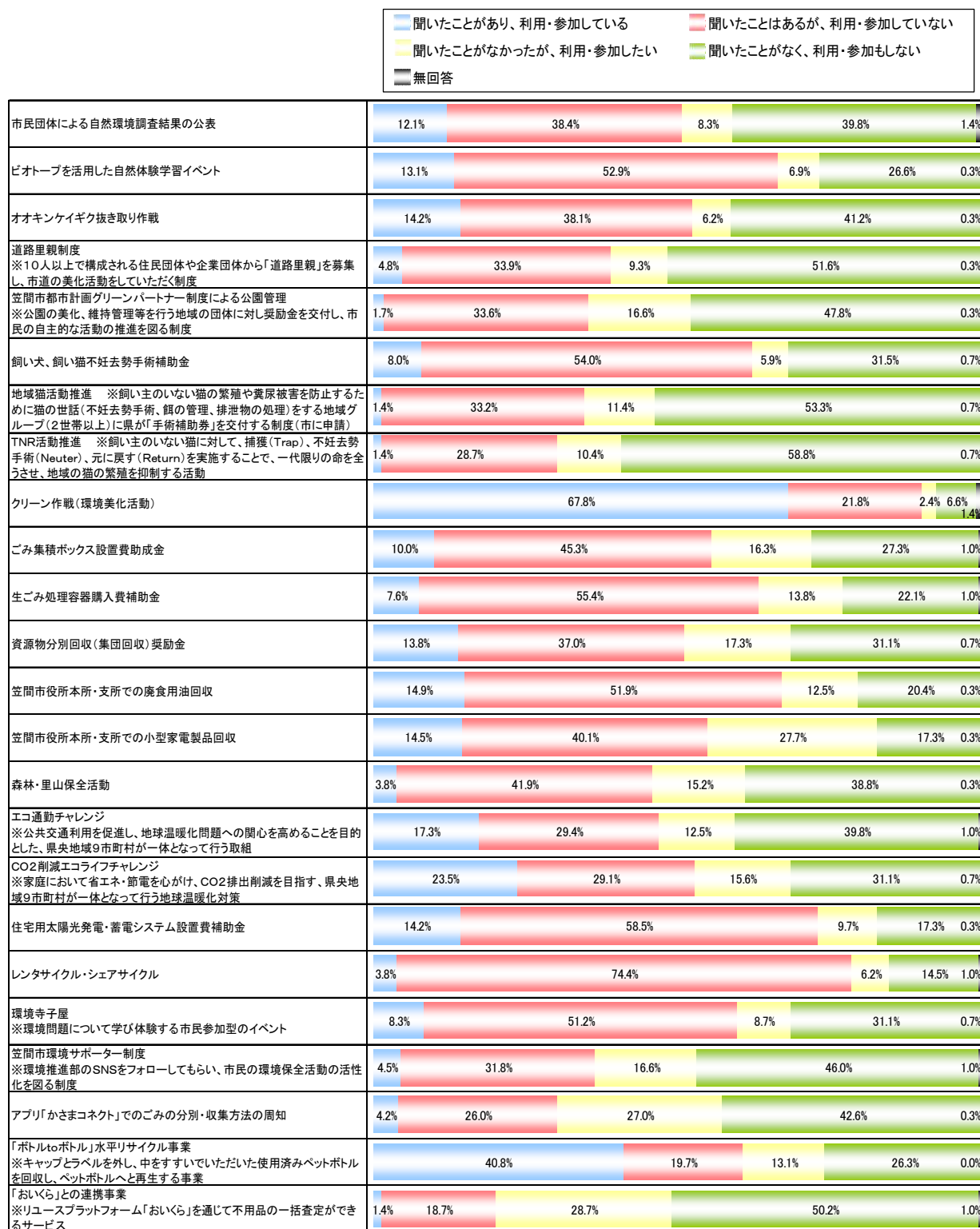
問4)あなたは環境についての情報(知識)を主にどこから得ていますか。あてはまるものを3つまで選んでください。(n=318)



「県や市の広報紙」が最も多く、次いで「テレビ・ラジオ」、「新聞・雑誌・書籍」が続いている。

「その他」の内容としては、「PIRIKA アプリ」「市からのメール」「ボランティア」「会社の仕事、環境活動」などが挙げられている。

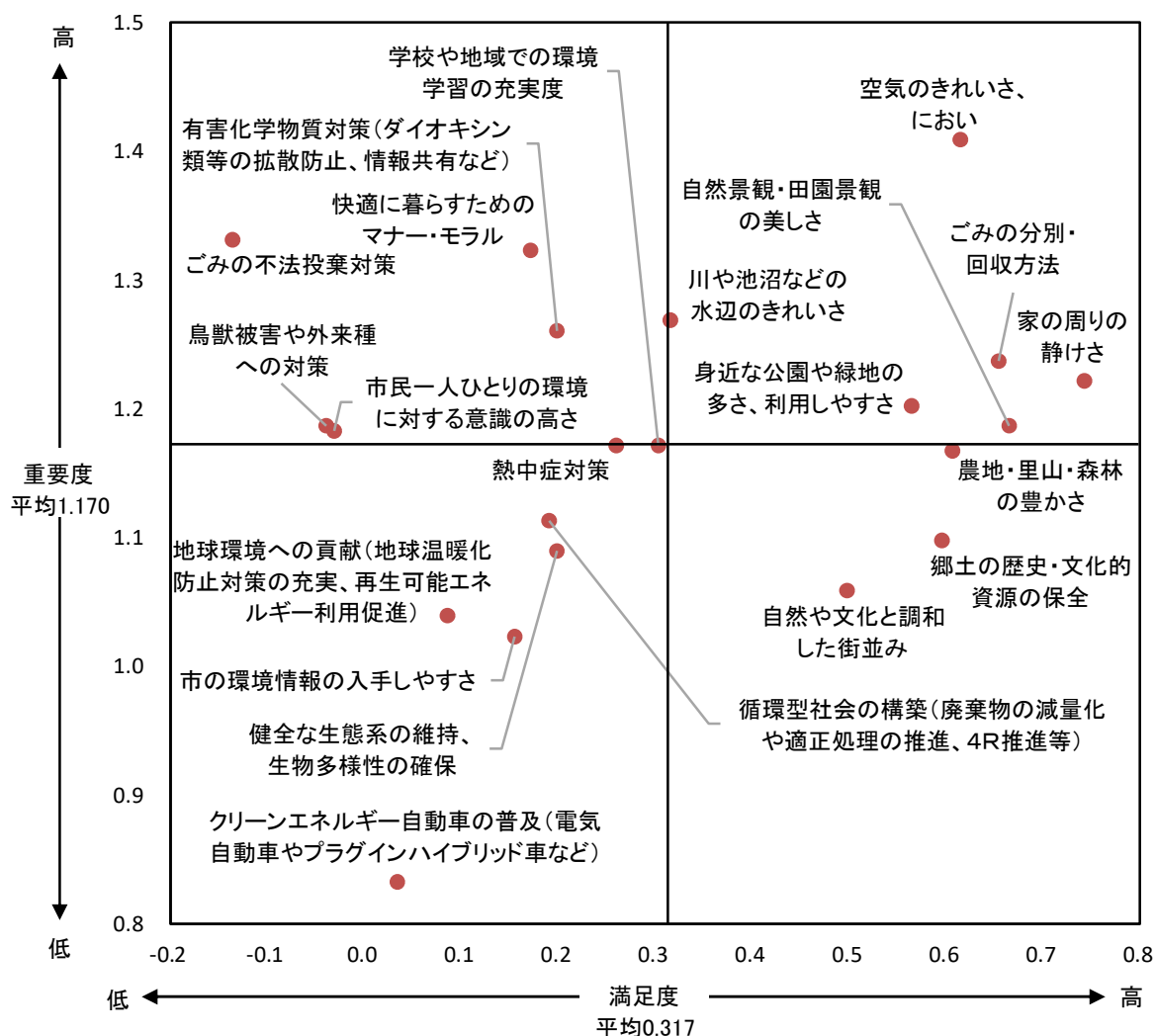
問5)笠間市が取り組んでいる環境施策のうち、あなたはどの程度ご存じですか。以下の各項目について、あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。(n=289)



「クリーン作戦(環境美化活動)」では約7割、「ボトル to ボトル」水平リサイクル事業」では約4割と比較的多くの市民が利用・参加している。

「笠間市役所本所・支所での小型家電製品回収」、「アプリ「かさまコネクト」でのごみの分別・収集方法の周知」、「おいくら」との連携事業」では約3割が「聞いたことがなかったが、利用・参加したい」を選択しており、不用品やごみの処分について関心が高い。

問6)あなたは笠間市の環境や、環境への取組についてどのように感じていますか。あなたの満足度及び重要度について、あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。(n=257)

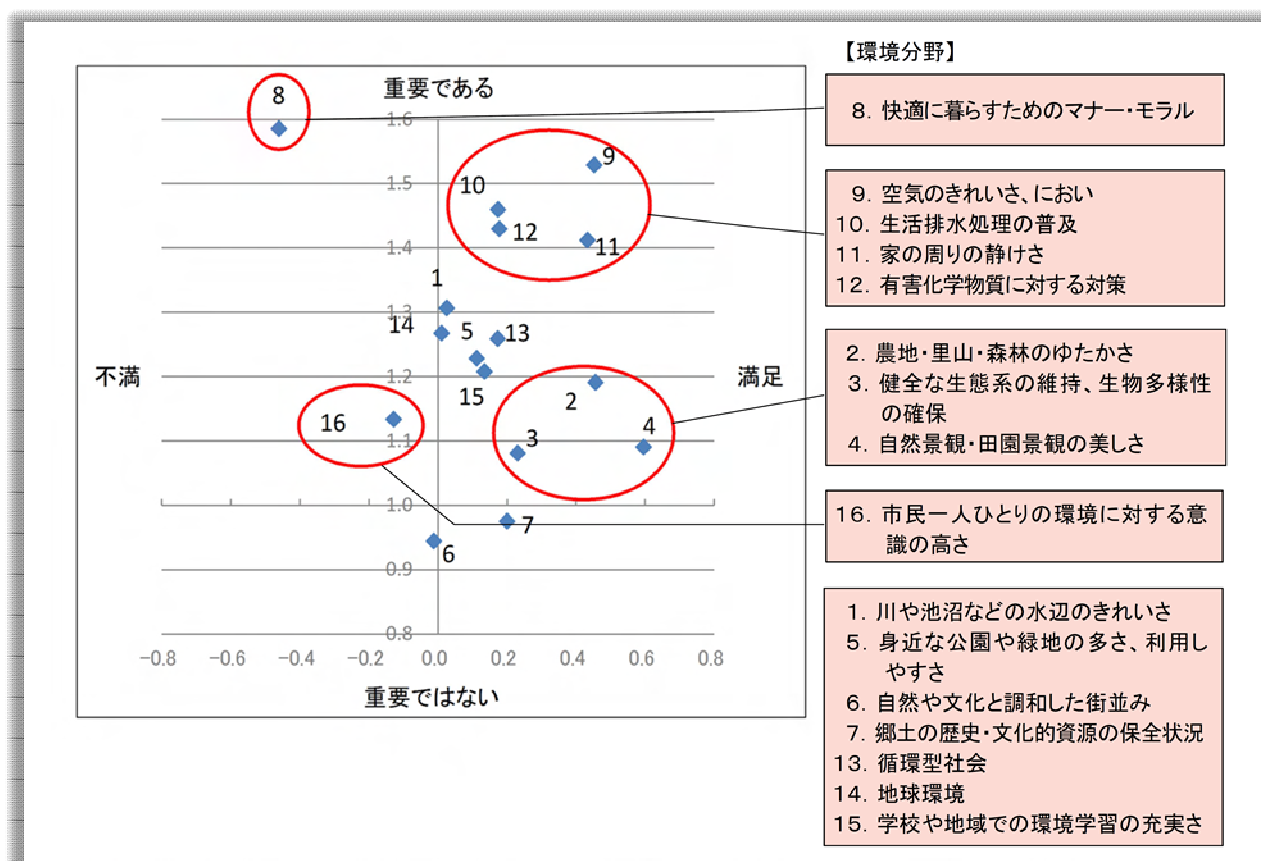


満足度及び重要度の計算方法

満足度の場合、「不満」＝－2、「やや不満」＝－1、「どちらともいえない」＝0、「やや満足」＝＋1、「満足」＝＋2として点数を与え、以下の式により算出(重要度も同様)

$$\{(\text{「不満」の回答数}) \times (-2) + (\text{「やや不満」の回答数}) \times (-1) + (\text{「どちらともいえない」の回答数}) \times 0 + (\text{「やや満足」の回答数}) \times 1 + (\text{「満足」の回答数}) \times 2\} \div \text{全回答者数}$$

➤ 平成26年度に実施した環境意識調査結果との比較



前回調査で満足度・重要度ともに比較的低かった「市民一人ひとりの環境に対する意識の高さ」は重要度が上昇した。

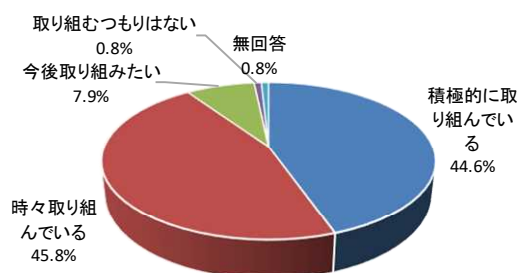
前回調査で重要度が高いものの満足度が低かった「快適に暮らすためのマナー・モラル」は今回も同様の傾向となっている。

前回調査で満足度・重要度ともに高かった「空気のきれいさ、におい」「家の周りの静けさ」「有害化学物質に対する対策」は、「空気のきれいさ、におい」「家の周りの静けさ」が今回も同様の結果となった一方、「有害化学物質に対する対策」の満足度が低下している。

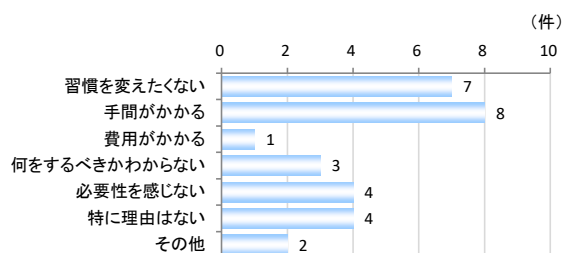
問7)あなたは地球温暖化対策としてどのような取組をしていますか。以下の各項目について、あてはまるものを1つ選んでください。(n=240)

問8)問7で「今後取り組みたい」「取り組むつもりはない」と答えた方にお聞きます。以下の各項目について、あなたが取り組んでいない理由としてあてはまるものをすべて選んでください。「その他」と回答した項目について、差し支えなければ具体的な理由をご記入ください。

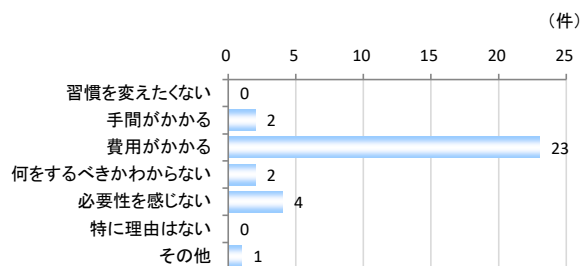
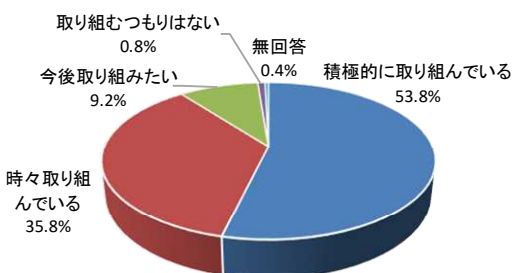
地球温暖化対策としての取組 電気やガス、水道の使用を節約する



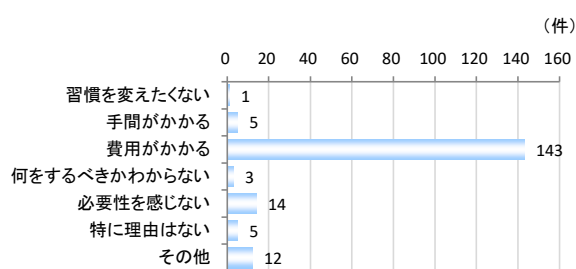
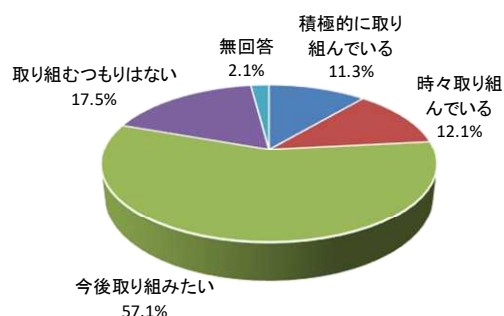
取り組んでいない理由



LED照明など、省エネ製品を購入する



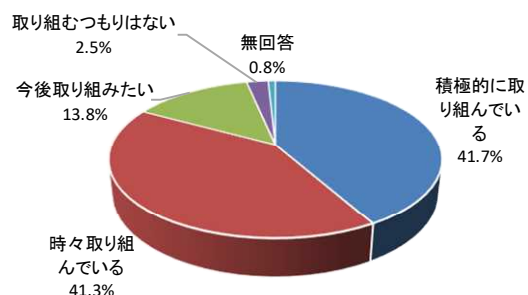
クリーンエネルギー自動車を購入する



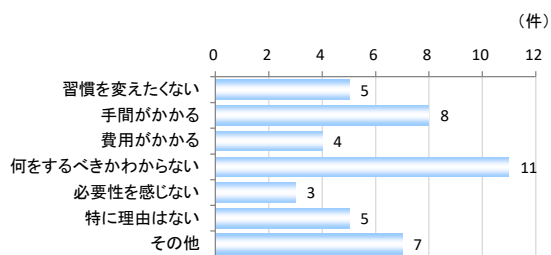
その他の理由

- 自動車に乗っていません
- 本当にクリーンか疑問
- 形が好みではない
- 高価格、普及が進んでいない

地球温暖化対策としての取組 エコドライブ(環境にやさしい運転)を心がける

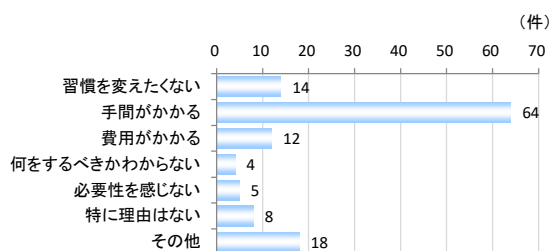
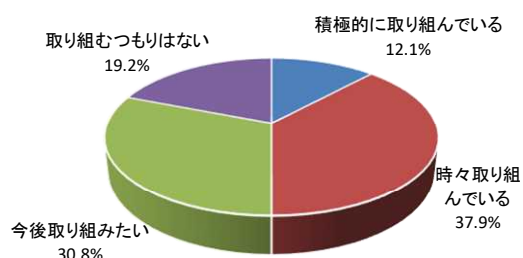


取り組んでいない理由



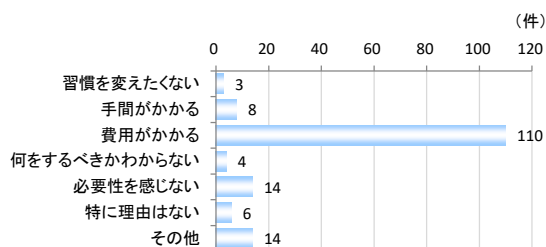
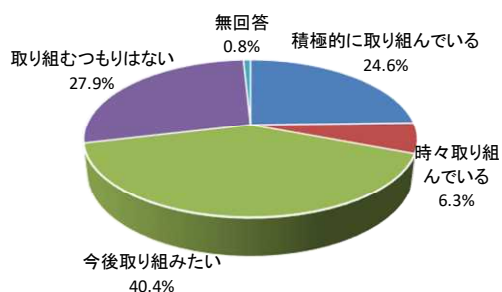
その他の理由
☐ 持っていない
☐ 自動車に乗っていません

外出時は徒歩や自転車、公共交通機関を利用する



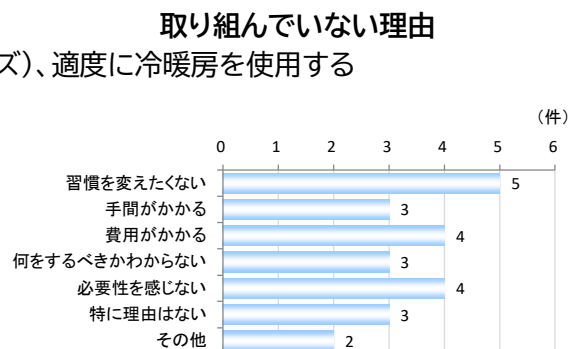
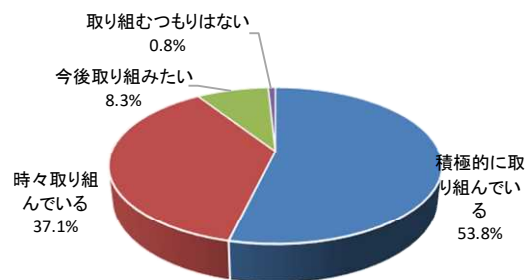
その他の理由
☐ 徒歩や自転車ではどこにも行けない。近くにお店もない。
☐ 公共の交通機関が近くにない
☐ 街中ではないため移動距離がある為
☐ 体力的に無理
☐ 足が悪いので車でないと移動は無理です
☐ タクシー以外に選択肢が無いため
☐ 便が少ない
☐ 子どもが小さいため、自転車等で外出すると危険な箇所がある。

太陽光発電など、再生可能エネルギー設備を導入する

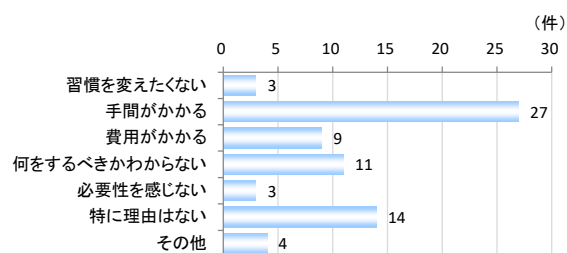
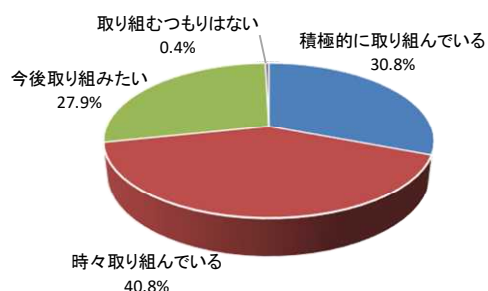


その他の理由
☐ 本当にクリーンか疑問
☐ 賃貸なので、難しい
☐ アパート住まいだから

地球温暖化対策としての取組 気温に応じた服装を選択し(クールビズ・ウォームビズ)、適度に冷暖房を使用する

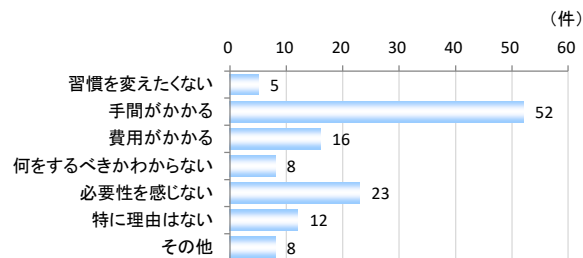
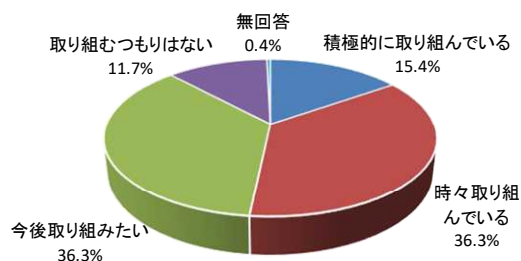


災害に備えて、水や食料の備蓄や、笠間市ハザードマップの確認をする



その他の理由
○必要性は感じている。

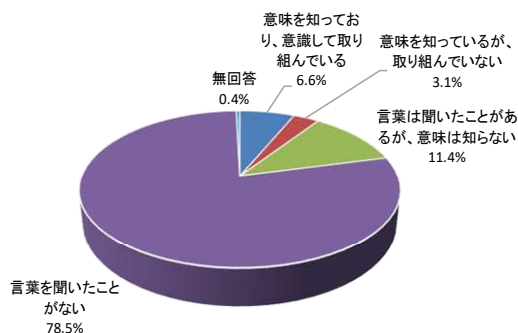
打ち水や緑のカーテンを導入する



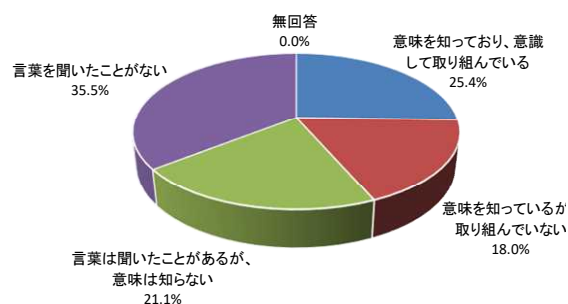
その他の理由
○水道代が掛かる
○ベランダも狭く場所がない
○家の前に緑のカーテンがあるのが恥ずかしいから

問9)地球温暖化による気候変動への対策には「緩和」と「適応」があります。温室効果ガスの排出を減らす「緩和」に取り組むうえで、国では「デコ活」という国民運動を展開し、人々のライフスタイルの転換を促しています。また、既に避けられない影響に対し「適応」していくことも重要です。あなたは「デコ活」及び「気候変動適応」という言葉を知っていますか。それぞれあてはまるものを1つ選んでください。(n=228)

デコ活



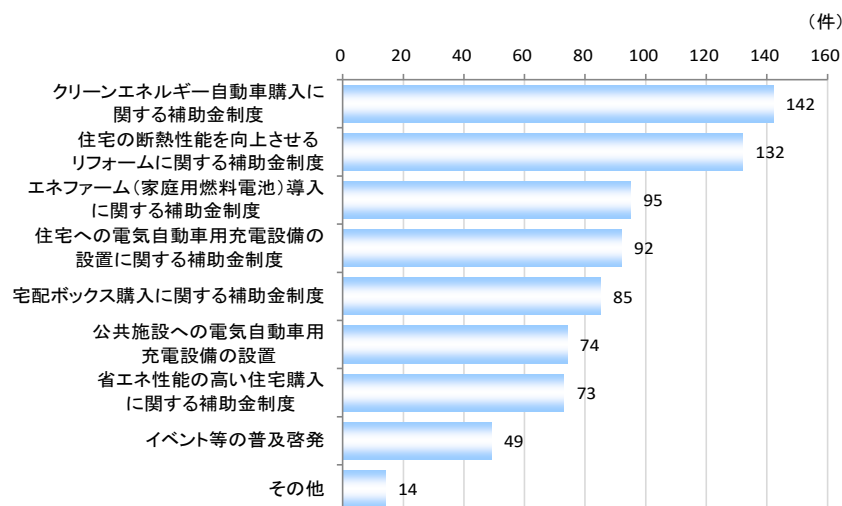
気候変動適応



「デコ活」については「言葉を聞いたことがない」が 78.5%で最も多く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」が続いている。

「気候変動適応」については、「言葉を聞いたことがない」が 35.5%で最も多く、次いで「意味を知っており、意識して取り組んでいる」が続いている。

問10)あなたが地球温暖化対策に取り組むうえで、笠間市に行ってほしい施策はありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(n=230)

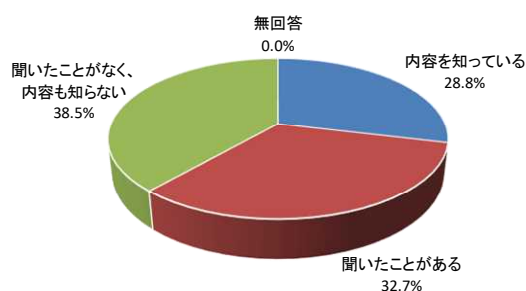


「クリーンエネルギー自動車購入に関する補助金制度」が最も多く、次いで「住宅の断熱性能を向上させるリフォームに関する補助金制度」が続いている。

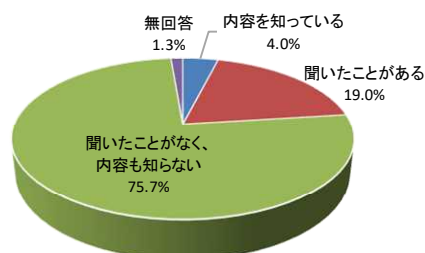
「その他」の内容としては、「地域貢献につながる取り組みが出来る企業・商業の誘致」「持続可能な山林整備事業に対する助成金制度」「公民館や市役所の使っていない場所のエアコンの節電」「助成金以外の直接的な介入」「緑化活動に取り組んでいる家庭への補助金」「プラスチック製容器包装の回収及び再資源化」「歩道や自転車専用の道の整備」などが挙げられている。

問11)生物多様性や、その保全のための取組について、あなたはどれくらい知っていますか。各項目について、あてはまるものを1つ選んでください。(n=226)

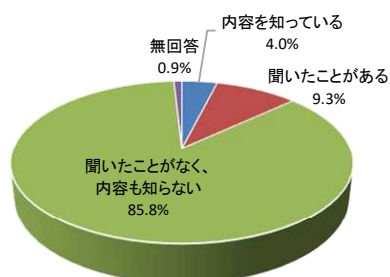
生物多様性



ネイチャーポジティブ

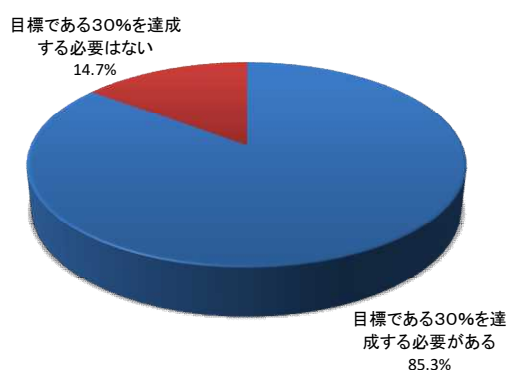


30by30(サーティ・バイ・サーティ)



「生物多様性」「ネイチャーポジティブ」「30by30」のいずれも「聞いたことがなく、内容も知らない」が最も多く、特に「ネイチャーポジティブ」「30by30」については回答者の4分の3以上が聞いたことがないと回答している。

問12)2024年現在、日本の保護地域(陸域)の状況は20.8%と、2030年までに30%の目標を達成するためには、残り6年で約9.2%が必要となります。笠間市の保護地域は26.6%と残り3.4%で目標を達成することができます。あなたは、笠間市が日本の目標である30%を達成する必要があると思いますか。(n=224)



問13)笠間市で保護地域としてすでに指定されている主な地域は以下の表に示すとおりです。表に示されている地域以外で、笠間市で保全すべきと思う地域をご記入ください。(n=57)

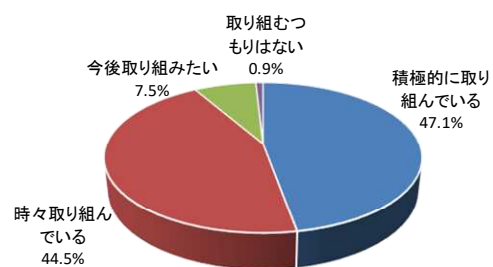
区分	保護地域名
茨城県立自然公園	笠間、吾国愛宕
茨城県自然環境保全地域	野口池
茨城県緑地保全地域	稲田
茨城県指定鳥獣保護区	笠間湖、内原の一部、佐白山、友部、愛宕

上記の表以外で保全すべき地域	
二ツ池	加賀田山
酒沼川畔、大古山鎌池周辺、館岸山周辺	旭町
酒沼川流域	ビーラインの山地山林
北山公園	北山公園から天神の里周辺
柊山	柊山公園(関戸)
芸術の森公園	上郷、難台
田園地域	朝坊山、仏頂山
白鳥湖周辺	福原
出雲神社	笠間稲荷神社
笠間城跡の整備	各運動公園(現在乱暴に使用している)
農地、里山を全て保全すべきです。	稲作
田畑の保全、農業の振興、農家への助成	街中の住宅地の乱立
ビオトープ天神の里	

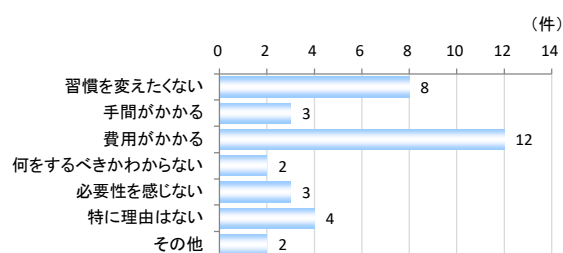
問14)あなたは生物多様性の保全についてどのような取組をしていますか。以下の各項目について、あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。また、他に取り組んでいるものがあれば項目7に記入してください。(n=227)

問15)問14で「今後取り組みたい」「取り組むつもりはない」と答えた方にお聞きます。以下の各項目について、あなたが取り組んでいない理由としてあてはまるものをすべて選んでください。「その他」と回答した項目について、差し支えなければ具体的な理由をご記入ください。

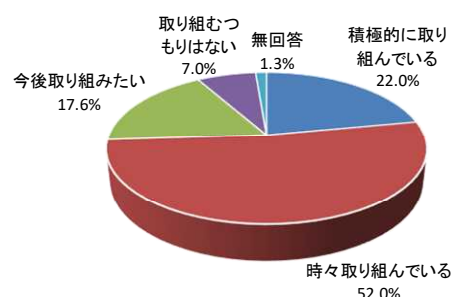
生物多様性の保全についての取組 地元でとれたものを食べる



取り組んでいない理由

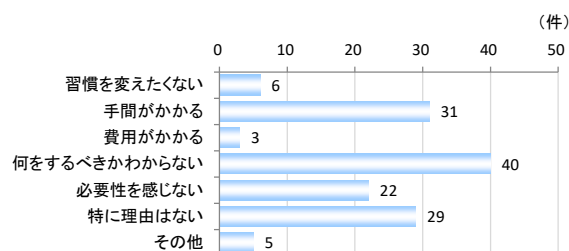
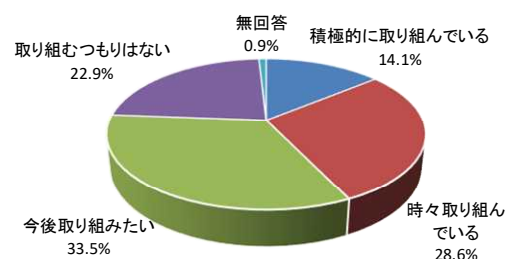


自然の中や動物園、水族館や植物園に行き、自然や生きものにふれる



その他の理由 ○今後行って行きたい

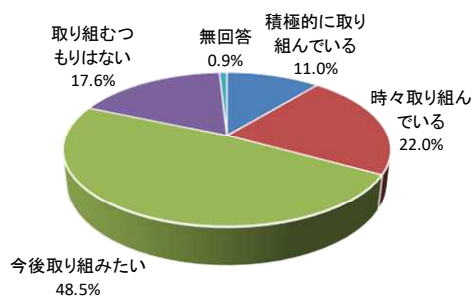
自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じ、写真や絵、文章などで表現する



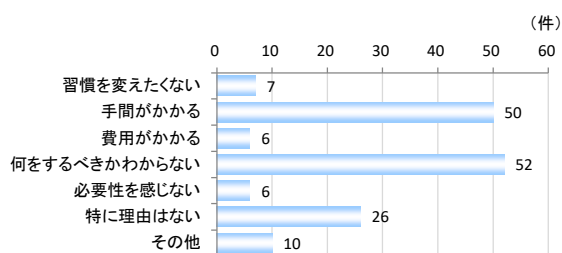
その他の理由 ○忙しく時間がない ○取り組む時間が無い

生物多様性の保全についての取組

生きものや自然を守る活動に参加する



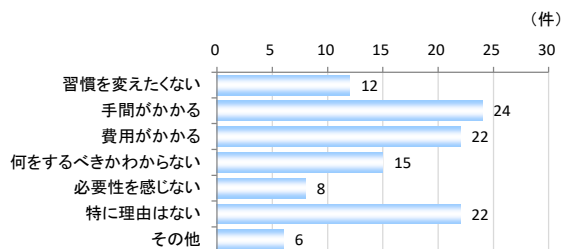
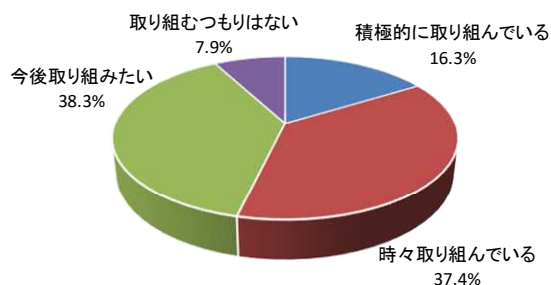
取り組んでいない理由



その他の理由

- 忙しく時間がない
- 参加する時間がない
- 取り組む時間が無い

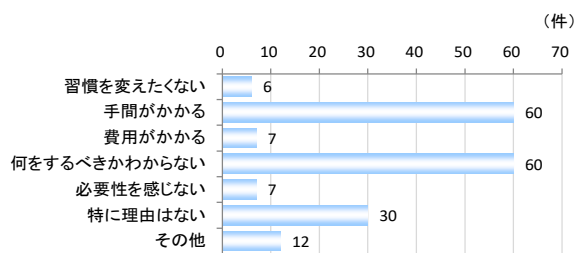
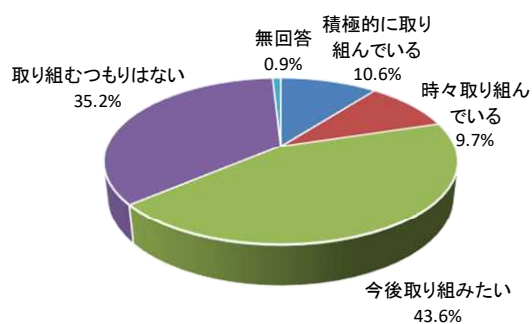
エコマークなど、環境負荷が少ないことを示す環境ラベルのついた商品を選ぶ



その他の理由

- 本当にそうか疑ってしまう

外来生物の駆除活動に参加する



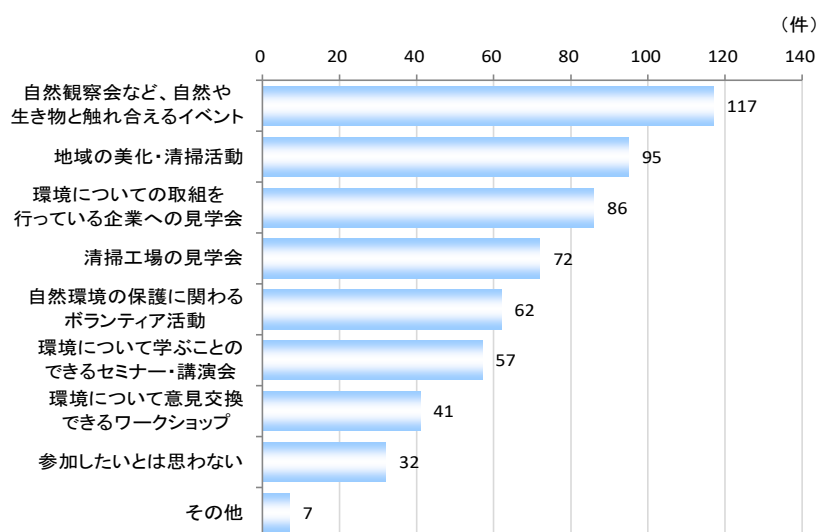
その他の理由

- 専門家をお願いする
- 参加する時間がない

問16)ごみの減量や分別の取組状況についてお伺いします。以下の各項目について、あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。(n=226)

	積極的に取り組んでいる	時々取り組んでいる	今後取り組みたい	取り組むつもりはない	無回答
マイバッグやマイボトルを持ち歩く、詰め替えのできる商品を選ぶなど、ごみの発生を抑える	79.6%	18.1%	2.2%		
生ごみ処理容器の使用や、生ごみの水気を切ることで、ごみ回収に出す生ごみの量や悪臭を減らす	48.7%	26.1%	21.2%	2.7%	1.3%
食品ロス(食べ残しや使わずに食品を廃棄すること)のないように購入・調理する	65.5%	28.3%	5.8%	0.4%	
資源物の回収に協力する(リサイクルステーションの利用など)	66.4%	24.3%	8.0%	0.9%	0.4%
リサイクルショップやフリーマーケット、フリマアプリなどでリユース品を売買する	31.0%	34.1%	24.3%	9.3%	1.3%
エコマークやグリーンマークなど、環境負荷が少ないことを示す環境ラベルのついた商品を選ぶ	24.8%	39.4%	29.6%	5.3%	0.9%
ごみの分別ルール・マナー(時間帯、曜日)を守る	92.5%	6.6%	0.4%		
ペットボトルのキャップとラベルを分別する	82.7%	10.6%	5.8%	0.4%	

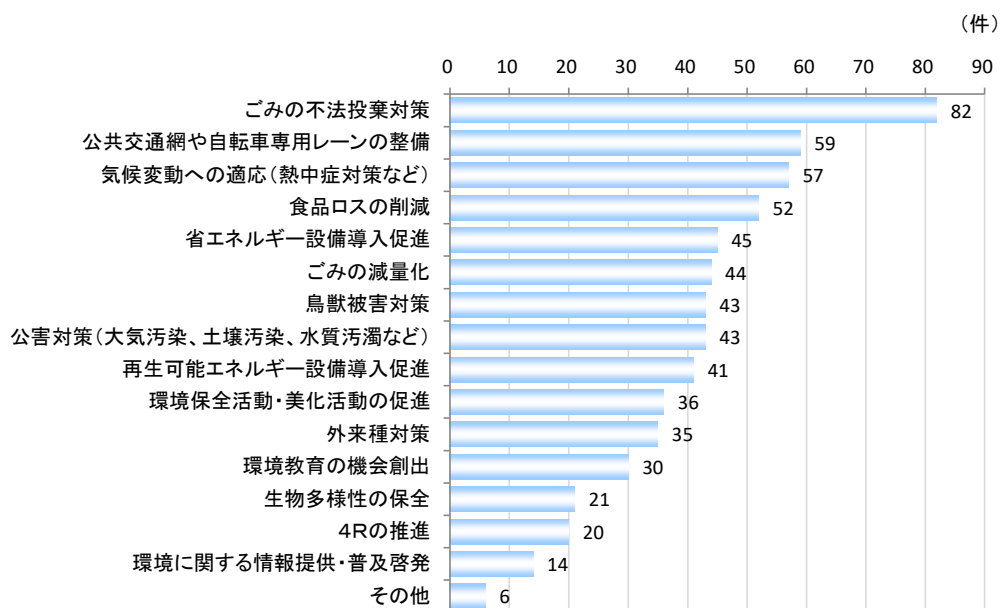
問17)環境のことを学べる講習会・イベントや環境を守るためのボランティア活動などについて、あなたはどのようなものであれば参加したいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。(n=226)



「自然観察会など、自然や生き物と触れ合えるイベント」が最も多く、次いで「地域の美化・清掃活動」「環境についての取組を行っている企業への見学会」が続く。

「その他」の意見として、「水源かん養林の為に植林」「子供と参加できるもの」「子ども向けのもの」「環境とアートがコラボした体感型イベント」「香害に関するイベント」「参加したいと思うが、年齢でなかなかイベントには参加できなくなった」などが挙げられている。

問18)笠間市の環境行政について、特に優先して取り組んでほしい施策はなんですか。あてはまるものを3つまで選んで下さい。(n=227)



「ごみの不法投棄対策」が最も多く、次いで「公共交通網や自転車専用レーンの整備」「気候変動への適応(熱中症対策など)」が続く。

「その他」の内容として、「友部町内の道路の整備、公園の設置、川、池、沼の公園化に取り組んでいただきたい。」「SNS、ユーチューブでの啓蒙活動」「通学路の草や木の対策、整備」「野焼き対策」「空き家対策」「設置して終わりではなく、管理できるしくみ」といった意見が挙げられている。

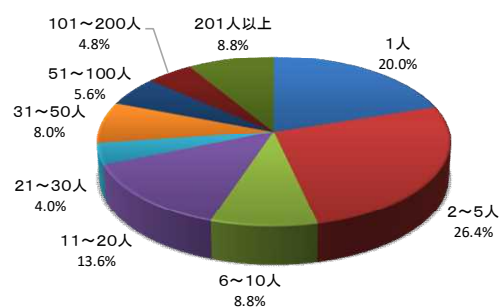
2. 事業者アンケート調査結果概要

設問項目及び目的は以下の表に示すとおりです。

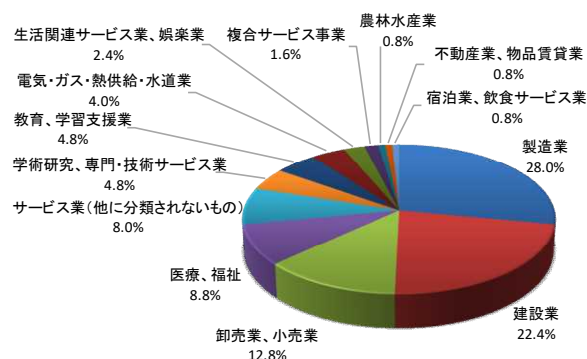
問	設問項目		目的等
1	事業者のパーソナルデータ		属性把握
2	環境に配慮した事業活動		導入状況の把握、課題抽出、施策等への反映
3	情報入手媒体		情報発信の検討
4	環境施策の認知度・利用状況		導入状況の把握、課題抽出、補助制度の検討
5	対応に苦労している環境問題		課題抽出、施策等への反映
6	気 候 変 動	地球温暖化対策に関する取組	課題抽出、施策等への反映
7		取り組んでいない理由	
8		適応の認知度	認知度の把握、課題抽出
9		行政が優先して取り組む施策	課題抽出、補助制度の検討
10	生 物	生物多様性と事業活動の関係	課題抽出、施策等への反映
11		30by30 目標の達成について	施策等への反映
12		自然共生サイトへの関心・取組常用	課題抽出、施策等への反映
13		取り組んでいない理由	
14		生物多様性への取組	課題抽出、施策等への反映
15		取り組んでいない理由	
16	プラスチックごみ等の減量化に係る取組		重点事業の検討、課題抽出、施策等への反映
17	環境についての職員教育や研修		優良事例の収集、取組状況の把握
18	参加・協力できる環境への取組		施策等への反映
19	行政が優先して取り組む施策		重点施策の検討

問1) 貴事業所についてお尋ねします。各項目について、あてはまるものを1つ選んでください。
(n=125)

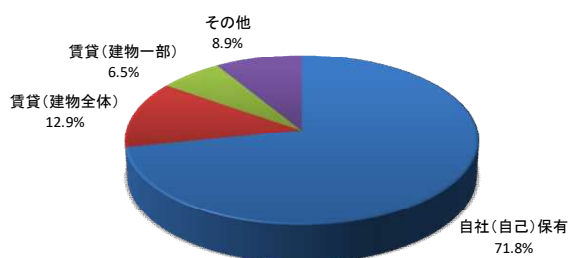
従業員数



業種



事業所の所有形態



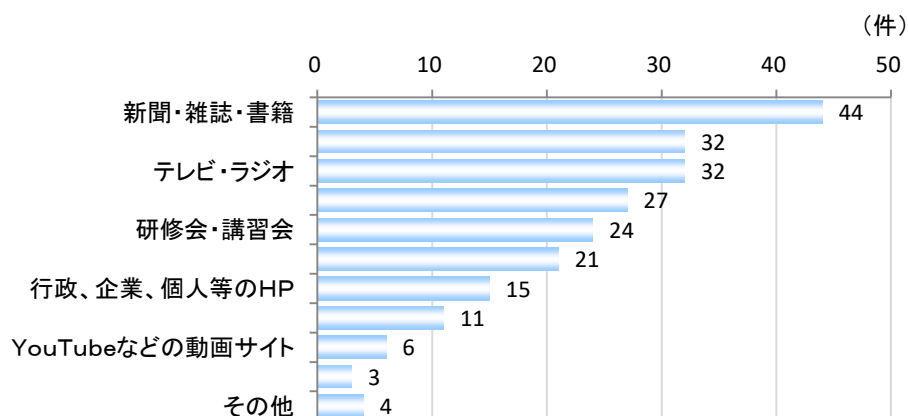
従業員数: 2~5人が26.4%で最も多く、次いで1人、11~20人の順となっている。
業種: 製造業が28.0%で最も多く、次いで建設業、卸売業・小売業の順となっている。
事業所の所有形態: 自社(自己)保有が71.8%で最も多く、次いで賃貸(建物全体)、賃貸(建物一部)の順となっている。

問2) 貴事業所では、環境に配慮した事業活動として、以下の取組を実施していますか。以下の各項目について、あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。(n=96)

	既に導入している	今後導入したい	導入する予定はない
ISO14001、エコアクション21などの環境マネジメントシステム導入	11.5%	9.4%	79.2%
自主的な環境管理計画の策定	14.6%	22.9%	62.5%
環境担当の部署や担当者の配置	13.5%	17.7%	68.8%
環境報告書の作成・公表	10.4%	15.6%	74.0%
SDGsをふまえた経営方針	20.8%	27.1%	52.1%
温室効果ガス排出量の把握	19.8%	20.8%	59.4%

いずれの取組も、導入している事業者は1~2割程度で、導入意向のない事業者が大半を占めている。

問3)貴事業所では環境についての情報(知識)を主にどこから得ていますか。以下のうち、あてはまるものを3つまで選んでください。(n=86)



「新聞・雑誌・書籍」が最も多く、次いで「県や市の広報紙」「テレビ・ラジオ」が続く。「その他」の内容として、「親会社」が挙げられている。

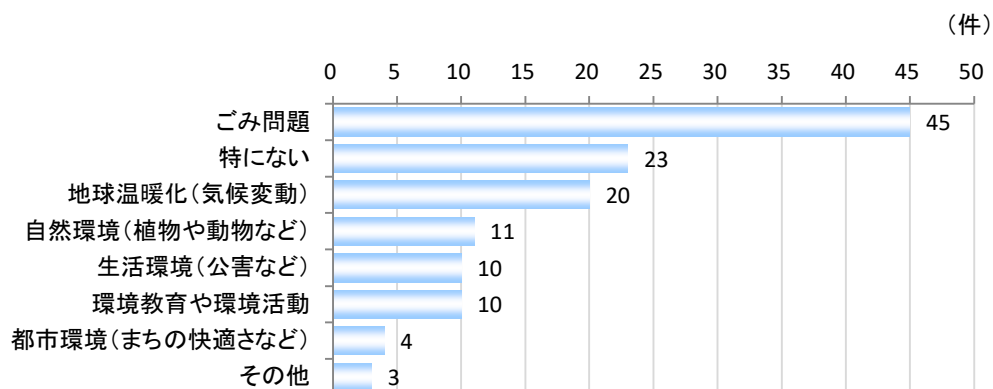
問4)笠間市が取り組んでいる環境施策のうち、貴事業所はどの程度ご存知ですか。以下の各項目について、あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。(n=81)

	聞いたことがあります、利用・参加している	聞いたことはあるが、利用・参加していない	聞いたことがなかったが、利用・参加したい	聞いたことがなく、利用・参加もしない
エコ・ショップ認定制度 ※環境にやさしい商品の販売や、ごみの減量化などに積極的に取り組む小売店舗を「エコ・ショップ」として認定する制度	9.9%	34.6%	14.8%	40.7%
道路里親制度 ※10人以上で構成される住民団体や企業団体から「道路里親」を募集し、市道の美化活動をしていただく制度	8.6%	27.2%	14.8%	49.4%
オオキンケイギク抜き取り作戦	4.9%	28.4%	16.0%	50.6%
廃プラスチック削減及び温室効果ガス削減に関する、市内事業者の先進事例発表及び意見交換会	2.5%	29.6%	22.2%	45.7%
廃食用油の回収及びリサイクル	7.4%	50.6%	13.6%	28.4%
「ボトルtoボトル」水平リサイクル事業 ※キャップとラベルを外し、中をすすいでいただいた使用済みペットボトルを回収し、ペットボトルへと再生する事業	49.4%	17.3%	14.8%	18.5%
エコ通勤チャレンジ ※公共交通利用を促進し、地球温暖化問題への関心を高めることを目的とした、県央地域9市町村が一体となって行う取組	1.2%	32.1%	16.0%	50.6%

「ボトルtoボトル」水平リサイクル事業については、「聞いたことがあります、利用・参加している」と回答した事業者が49.4%とおおよそ半数を占めており、多くの事業者が使用済みペットボトルの回収に協力している。

一方、その他の環境施策については、利用・参加していない事業者が多いものの、利用・参加意向のある事業者も一定数みられる。

問5)貴事業所で対応に苦労している環境問題がありますか。以下のうち、あてはまるものをすべて選んでください。(n=80)

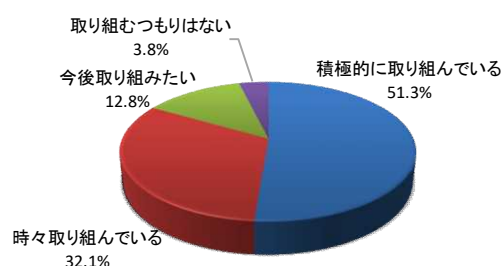


「ごみ問題」が最も多く、次いで「特にない」「地球温暖化(気候変動)」が続く。
「その他」の内容として、「隣接する会社からの悪臭、ゴミ散乱」「ノラ猫がうろうろしている」「夜の駐車による排ガス」が挙げられている。

問6)貴事業所では地球温暖化対策としてどのような取組をしていますか。以下の各項目について、あてはまるものを1つ選んでください。(n=78)

問7)問6で「今後取り組みたい」「取り組むつもりはない」と答えた方にお聞きます。以下の各項目について、貴事業所で取り組んでいなかった、あるいは取り組まない理由としてあてはまるものをすべて選んでください。「その他」と回答した項目について、差し支えなければ具体的な理由をご記入ください。

地球温暖化対策についての取組 電気やガス、水道の使用を節約する



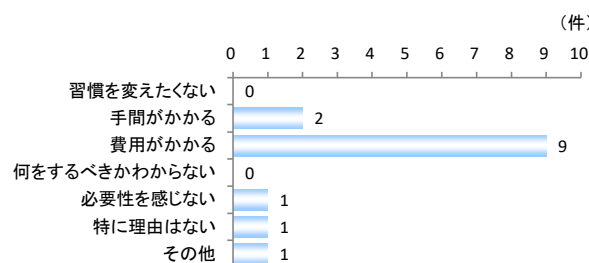
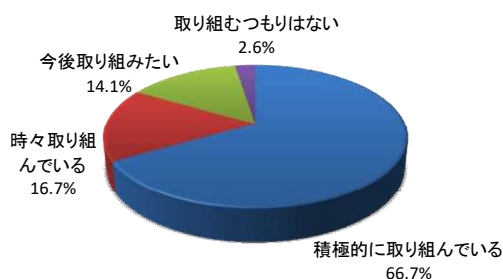
取り組んでいない理由



その他の理由

- 事業主からの指示があれば実施する。個人では効果を感じられない
- 元々最小必要限しか使用していない為
- プレハブなので暑いし寒い

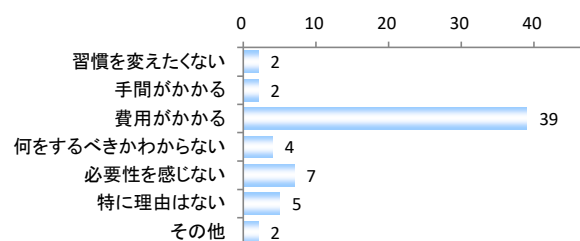
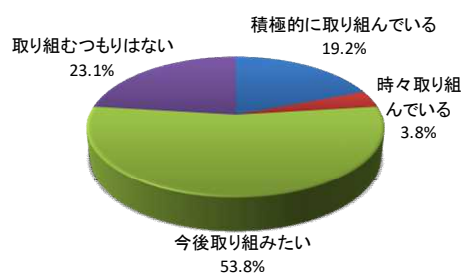
LED照明など、省エネ製品を購入する



その他の理由

- 事務所にいる時間は少ない

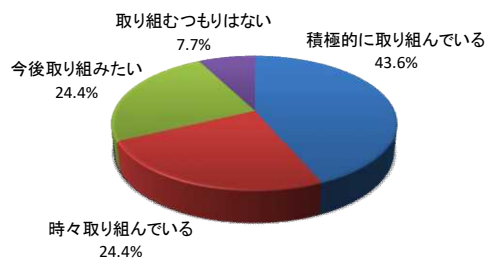
クリーンエネルギー自動車を購入・リースする



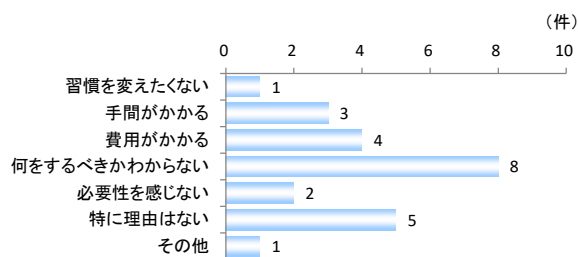
その他の理由

- 事業主からの指示がなく、必要性を感じられない。
- 社用車を所有していない

地球温暖化対策についての取組 エコドライブ(環境にやさしい運転)を心がける

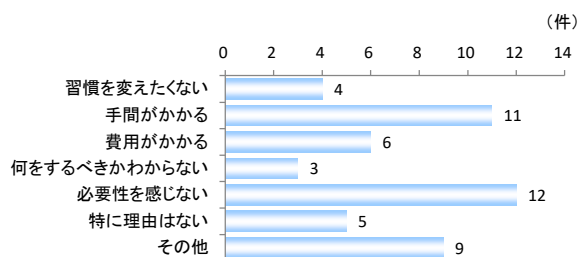
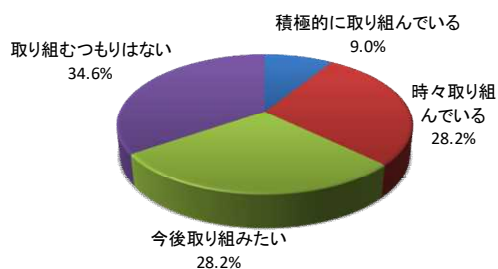


取り組んでいない理由



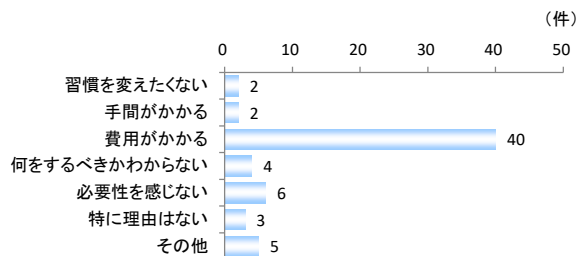
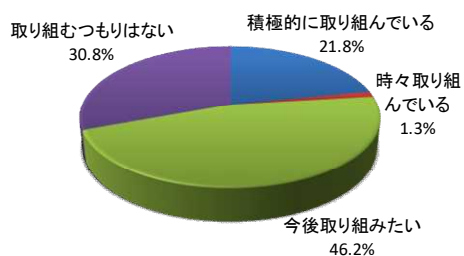
その他の理由
○社有車を所有していない

外出時は徒歩や自転車、公共交通機関を利用する



その他の理由
○仕事内容的に無理がある
○立地の問題
○近くに公共交通機関が無い

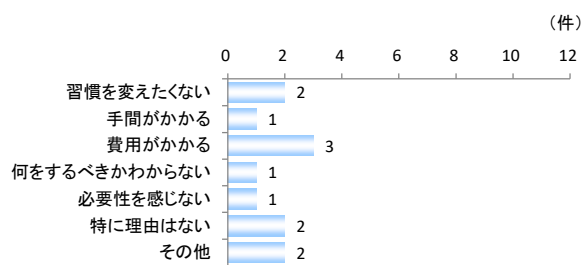
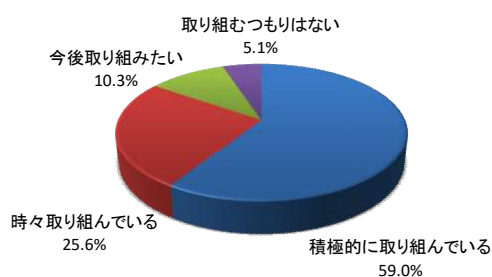
太陽光発電など、再生可能エネルギー設備を導入する



その他の理由
○導入費用に対して効果がない
○蓄電池がまだ高い
○借りているため

地球温暖化対策についての取組

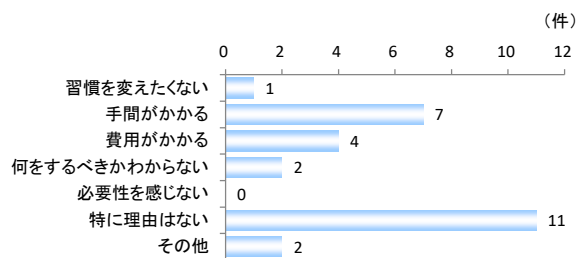
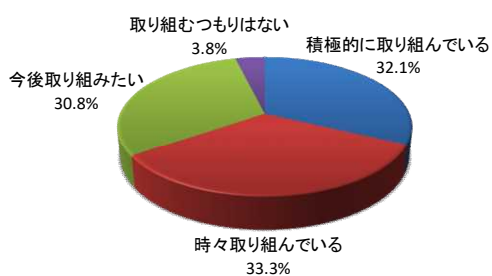
気温に応じた服装を選択し(クールビズ・ウォームビズ)、適度に冷暖房を使用する



その他の理由

○製造工程上 不可

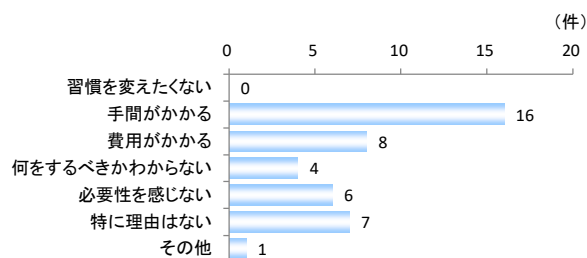
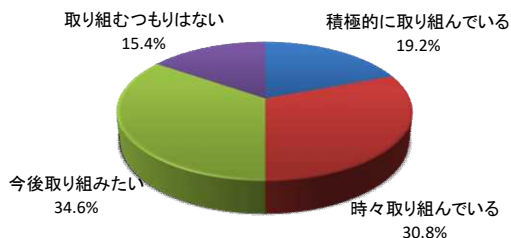
災害に備えて、水や食料の備蓄や、笠間市ハザードマップの確認をする



その他の理由

○頭にはあったが優先的に取り組んでいなかった

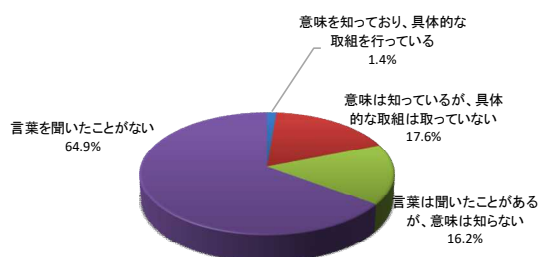
打ち水や緑のカーテンを導入する



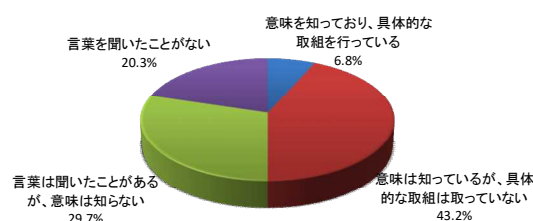
その他の理由
○衛生管理上 不適

問8)地球温暖化による気候変動への対策には「緩和」と「適応」があります。温室効果ガスの排出を減らす「緩和」に取り組むうえで、国では「デコ活」という国民運動を展開し、人々のライフスタイルの転換を促しています。また、既に避けられない影響に対し「適応」していくことも重要です。「デコ活」及び「気候変動適応」について、貴事業所では具体的な取組を行っていますか。以下のうち、あてはまるものを1つ選んでください。また、「意味を知っており、具体的な取組を行っている」を選択した場合、取組の内容を具体的にご記入ください。(n=74)

デコ活



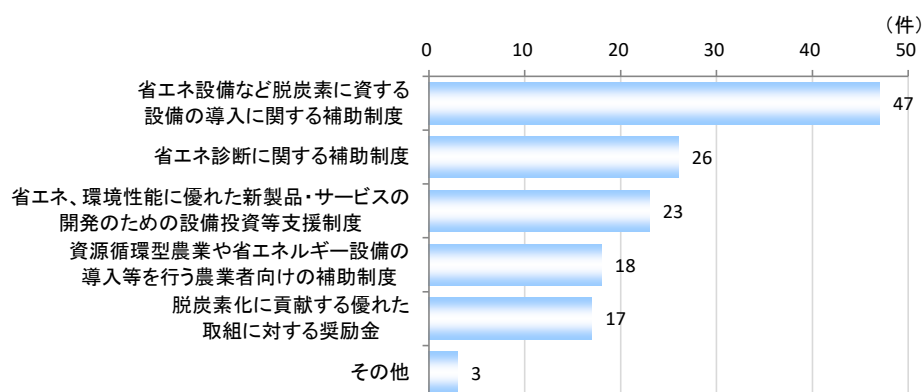
気候変動適応



「デコ活」については、64.9%の事業者が「言葉を聞いたことがない」と回答しており、認知度が低い状況となっている。事業所で行われている具体的な取組としては、「太陽光発電導入等他」が挙げられている。

「気候変動適応」については、「意味は知っているが、具体的な取組は行っていない」が43.2%と最も多い。事業所で行われている具体的な取組としては、「エネルギー使用量の削減」「熱中症対策等のマニュアル作成他」「再生エネルギー利用等」「自転車、徒歩活用」「職場環境の整備(冷房・暖房設備の充実)」が挙げられている。

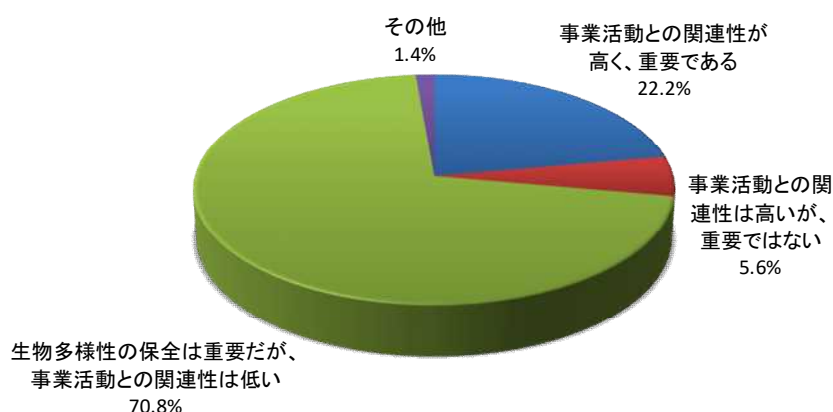
問9)貴事業所が地球温暖化対策に取り組むうえで、笠間市に行ってほしい施策はありますか。以下のうち、あてはまるものをすべて選んでください。(n=72)



「省エネ設備など脱炭素に資する設備の導入に関する補助制度」が最も多く、次いで「省エネ診断に関する補助制度」「省エネ、環境性能に優れた新製品・サービスの開発のための設備投資等支援制度」が続く。

「その他」の内容として、「太陽光パネルの設置で山林などが削られているが、どうお考えなのでしょう。又、パネルの廃棄についてはどのような対応をなされているのですか。」という意見が見られた。

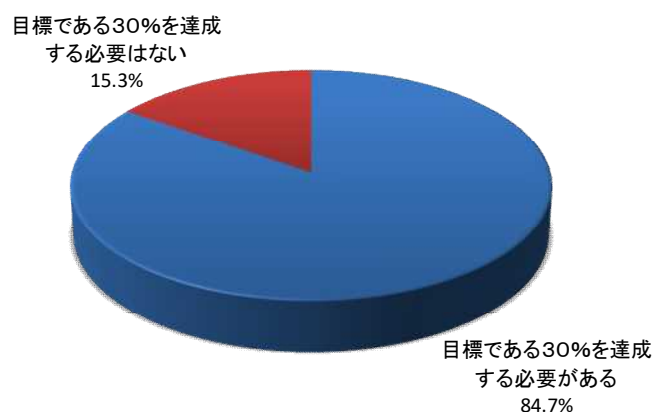
問10)生物多様性の保全について、貴事業所の活動との関係についてどう考えますか。以下のうち、あてはまるものを1つ選んでください。(n=72)



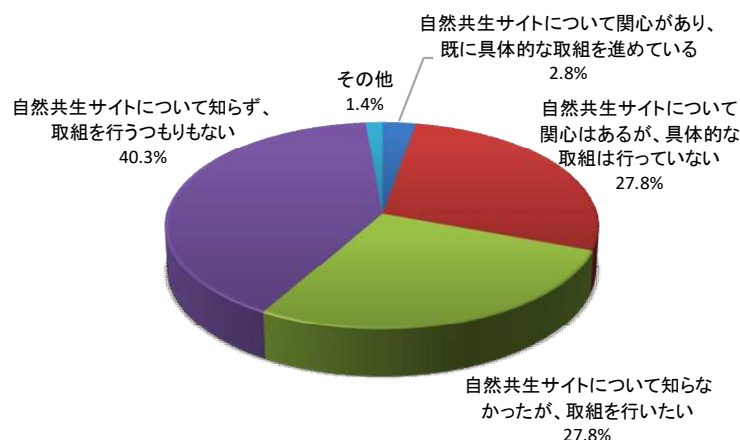
「生物多様性の保全は重要だが、事業活動との関連性は低い」が70.8%と最も多く、次いで「事業活動との関連性が高く、重要である」「事業活動との関連性は高いが、重要ではない」の順となっている。

「その他」の内容として、「分からない」という意見が挙げられた。

問11)2024年現在、日本の保護地域(陸域)の状況は20.8%と、2030年までに30%の目標を達成するためには、残り6年で約9.2%が必要となります。笠間市の保護地域は26.6%と残り3.4%で目標を達成することができます。貴事業所では、笠間市が日本の目標である30%を達成する必要があると思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。(n=72)



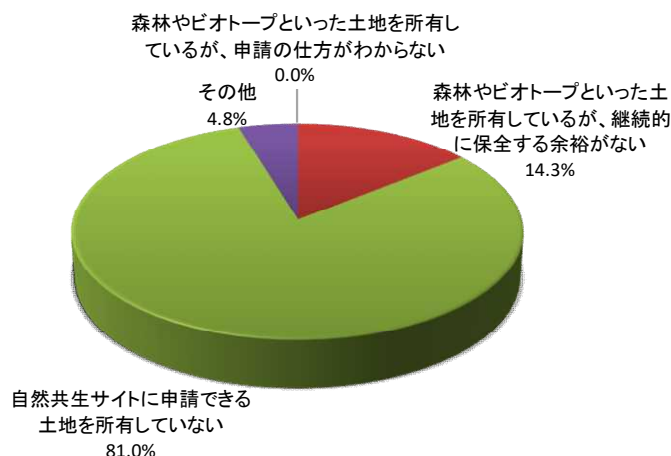
問12)30by30の目標達成に向けて、民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域を国が「自然共生サイト」として認定する制度があります。貴事業所ではこの取組について、どのように思いますか。以下のうち、最もあてはまるものを1つ選んでください。(n=72)



「自然共生サイトについて知らず、取組を行うつもりもない」が40.3%と最も多かったものの、「自然共生サイトについて興味はあるが、具体的な取組は行っていない」及び「自然共生サイトについて知らなかったが、取組を行いたい」の合計が約56%となっており、半数以上の事業者が自然共生サイトに関心を持っている。

「その他」の内容として、「規模が小さくて対応できない」という意見が挙げられた。

問13)問12で「自然共生サイトについて興味はあるが、具体的な取組は行っていない」と答えた方にお聞きします。具体的な取組を行っていない理由として、以下のうち、最もあてはまるものを1つ選んでください。



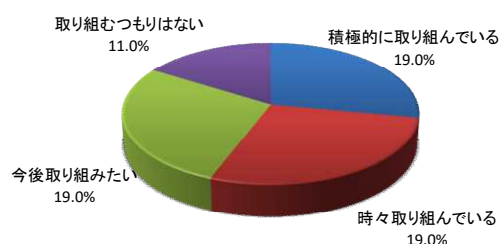
「自然共生サイトに申請できる土地を所有していない」が81.0%と最も多く、次いで「森林やビオトープといった土地を所有しているが、継続的に保全する余裕がない」となっている。

「その他」の内容として、「事業性質上 多様な生物が敷地内にいるのは好ましくない。(食品製造業)」という意見が挙げられた。

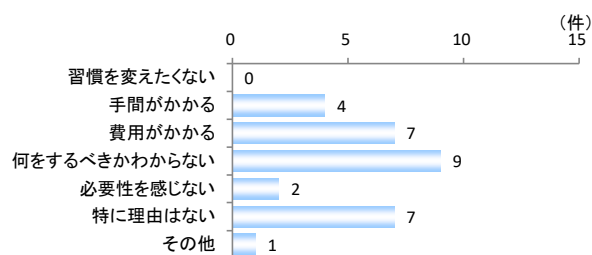
問14)貴事業所では生物多様性の保全についてどのような取組をしていますか。以下の各項目について、あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。また、他に取り組んでいるものがあれば項目7に記入してください。(n=68)

問15)問14で「今後取り組みたい」「取り組むつもりはない」と答えた方にお聞きます。以下の各項目について、貴事業所で取り組んでいなかった、あるいは取り組まない理由としてあてはまるものをすべて選んでください。「その他」と回答した項目について、差し支えなければ具体的な理由をご記入ください。

生物多様性の保全についての取組 地産地消(地元の食材や木材の調達など)



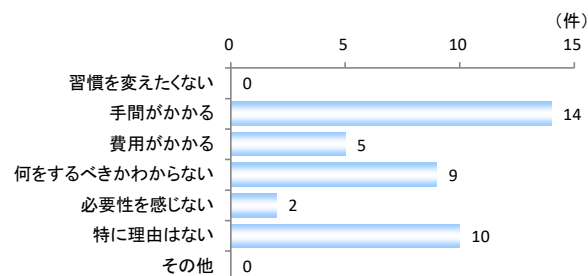
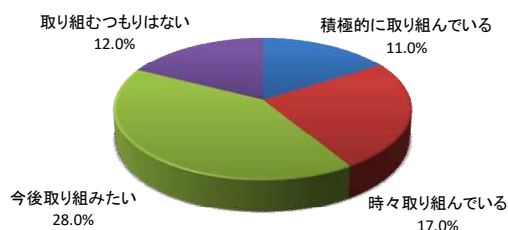
取り組んでいない理由



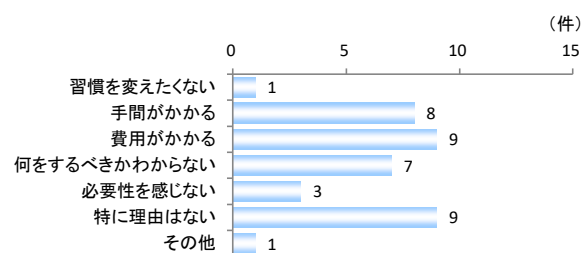
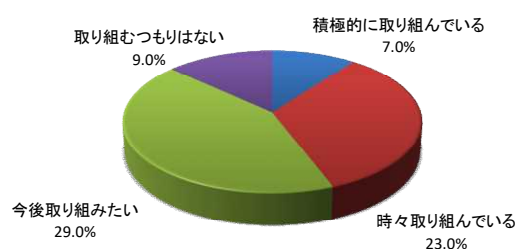
その他の理由

○仕事との関連性が低いので私生活で行っていきたい

社会貢献活動の一環としての、自然保護活動や外来生物の駆除活動、美化・清掃活動などへの参加



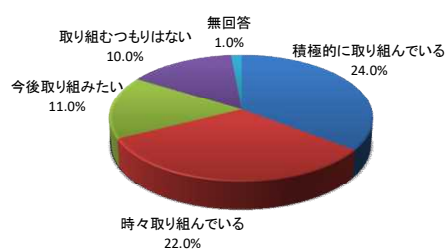
エコマークなど、環境負荷が少ないことを示す環境ラベルのついた商品・サービスの調達



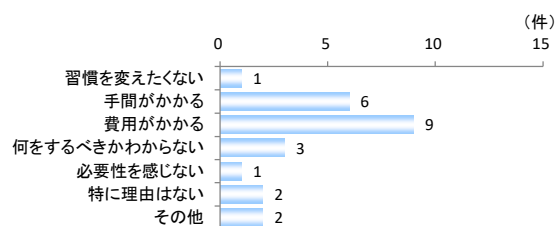
その他の理由

○必要なものを買う

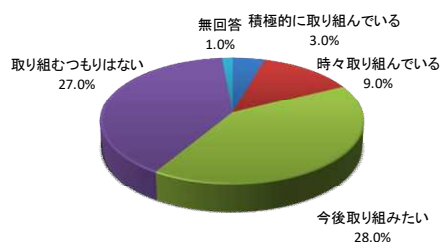
生物多様性の保全についての取組 事業所敷地内の植栽など、身近な緑の整備



取り組んでいない理由

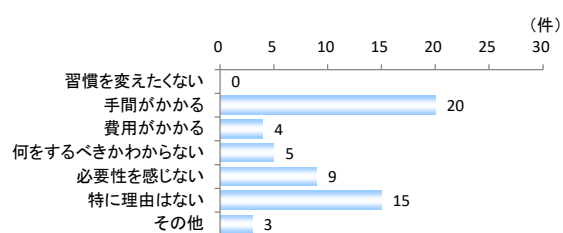


講演会などへの参加

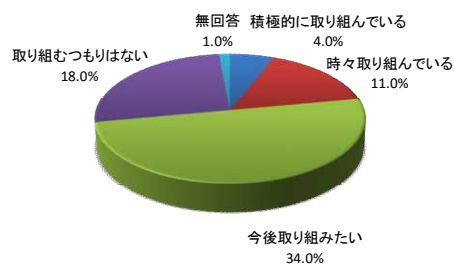


その他の理由

○借りているため

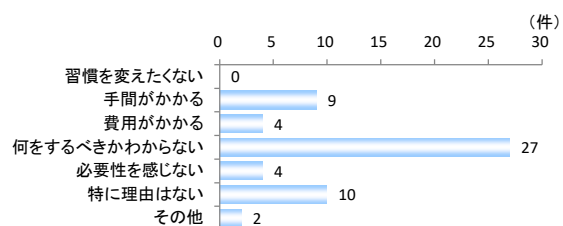


子どもたちへの環境教育



その他の理由

○時間が取れない事が多い

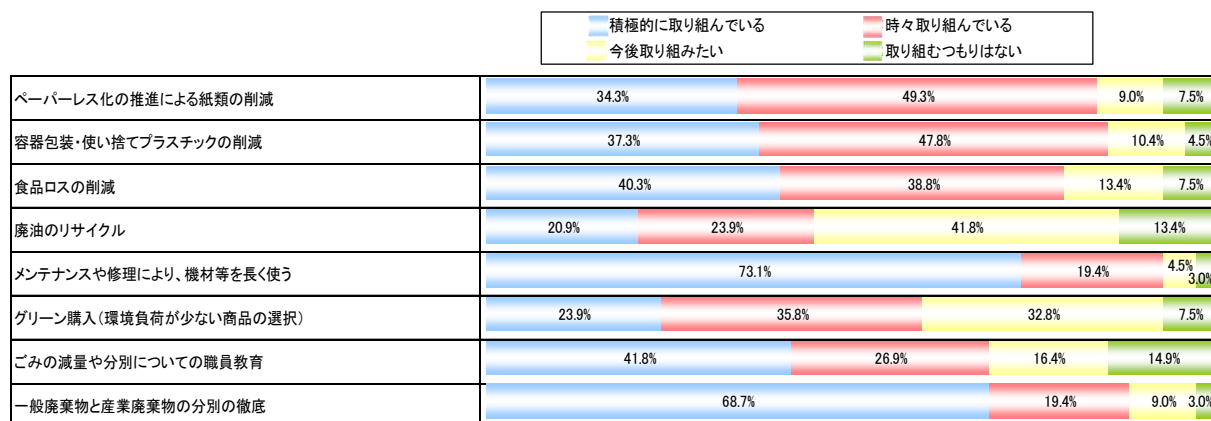


その他の理由

○事業イメージと直接的に結びつかない

○機会がない

問16)ごみの減量や分別の取組状況についてお伺いします。以下の各項目について、あてはまるものを1つ選んでください。また、他に取り組んでいるものがあれば項目9に記入してください。
(n=67)



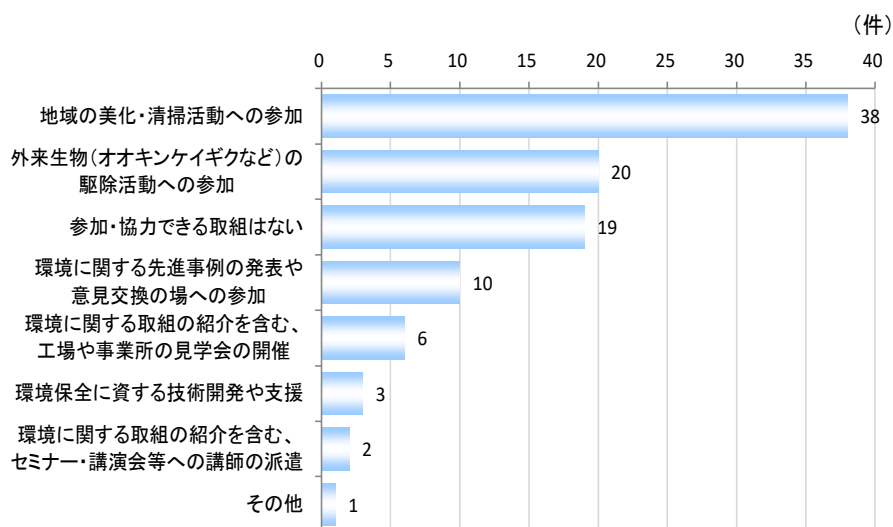
「メンテナンスや修理により、機材等を長く使う」「一般廃棄物と産業廃棄物の分別の徹底」については、「積極的に取り組んでいる」及び「時々取り組んでいる」の合計が約9割となっており、多くの事業者が取り組んでいる。

一方、「廃油のリサイクル」については「今後取り組みたい」が約4割と、関心はあるものの取り組めていない事業者が多いと考えられる。

問17)貴事業所で実施している、環境についての職員教育や研修があれば、以下に具体的な内容をご記入ください。(n=9)

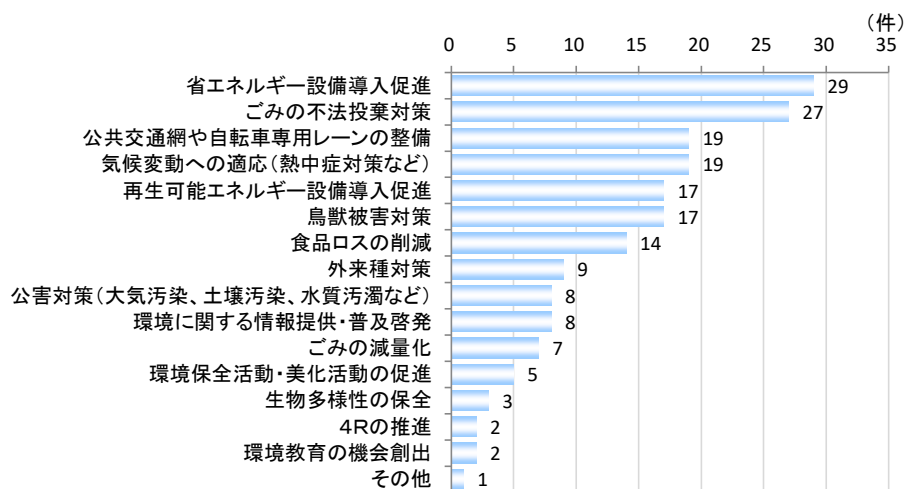
- 環境マネジメントシステムを取得している為、その一環で教育を実施している。
- 環境 ISO の教育の中で、涸沼や霞ヶ浦の状況を紹介しています。また、環境管理物質の教育や3R の啓蒙を行ったりしています。
- 省エネ環境委員会を設置し定期的に会議を開催している。
- ISO14001 で自主的に定めた目標や取り組みの共有、進捗確認・フロン排出抑制法に基づくルールに関する教育
- 産業廃棄物の可不可の徹底 プラごみの分別 木材は再生工場へ等簡単なもの
- ペットボトルやプラスチック製品の処理を適正に行うこと等。

問18)笠間市が環境保全に関する取組を進める上で、貴事業所で参加・協力できる取組はありますか。以下のうち、あてはまるものをすべて選んでください。(n=66)



「地域の美化・清掃活動への参加」が最も多く、次いで「外来生物(オオキンケイギクなど)の駆除活動への参加」「参加・協力できる取組はない」が続く。
「その他」の意見として、「事業所としてはできないが個人で参加している」が挙げられている。

問19)笠間市の環境行政について、特に優先して取り組んでほしい施策はなんですか。以下のうち、あてはまるものを3つまで選んで下さい。(n=66)



「省エネルギー設備導入促進」が最も多く、次いで「ごみの不法投棄対策」が続く。
「その他」の意見として、「隣接企業への注意・指導の強化」が挙げられている。